

経済常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第 1 号 令和 5 年度岩国市一般会計補正予算（第 8 号）

議案第 6 号 令和 6 年度岩国市一般会計予算

以上 2 議案のうち、本委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第 1 1 号 令和 6 年度岩国市周東食肉センター事業特別会計予算

議案第 1 2 号 令和 6 年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算

議案第 1 4 号 令和 6 年度岩国市市場事業特別会計予算

議案第 3 4 号 岩国市漁港管理条例等の一部を改正する条例

議案第 3 8 号 岩国市土地改良事業償還金に係る補助及び利子補給に関する経過措置条例を廃止する条例

議案第 4 2 号 指定管理者の指定について

議案第 4 3 号 指定管理者の指定について

議案第 4 4 号 指定管理者の指定について

以上 8 議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第 6 号 令和 6 年度岩国市一般会計予算についてのうち、本委員会所管分の審査におきまして、

農林水産業費の林業費の林業振興費の有害鳥獣捕獲事業に関し、委員中から、令和 5 年度の熊の捕獲状況について質疑があり、当局から、「令和 6 年 1 月末現在で 1 9 0 件の目撃があり、3 2 頭を捕獲した。令和 4 年度は 9 5 件の目撃があり、1 2 頭の捕獲であったことから、捕獲頭数は約 3 倍に増えている。熊の捕獲については、猟友会の熊レンジャーに報酬を支払って委託している」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「捕獲の確認手続で半日以上拘束されるにもかかわらず、熊レンジャーの報酬が低額であることから、手続の簡素化及び報酬費の見直しを図るべきと考えるがどうか」との質疑があり、

当局から、「以前から確認作業の簡素化を県に依頼をしており、少しずつ改善されている状況である。報酬についても、熊が頻繁に出没していることや危険な業務であることを踏まえ、適正な対価を今後検討していきたい」との答弁がありました。

続いて、農林水産業費の農業費の農業構造改善対策費の担い手農家育成事業に関し、委員中から、「令和 6 年度の新規事業となる、がんばる農業経営体支援事業費補助金は、市内で 3 0 アール以上の農地を耕作する方を対象に、農業用機械や施設等の購入に係る経費の一部を補助する事業と認識しているが、農家からの申請が予算を上回る場合の対

応はどうなるのか」との質疑があり、

当局から、「5月から6月中旬にかけて募集を行う予定であるが、予算を上回る申請があった場合は、補正予算で対応することを検討したい。担当課としては、できる限り申請された方全員に補助金を交付していきたいと考えている」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、事業の周知についての質疑があり、
当局から、「正式に事業内容が決定した後は、市のホームページや広報紙等による周知に加え、市内の農機具会社にもチラシを配付するなどして周知を図りたい。さらに、農協にも周知の協力を依頼したいと考えている」との答弁がありました。

続いて、商工費の観光費の観光宣伝事業に関し、
委員中から、予算の内訳についての質疑があり、
当局から、「山口県情報発信会への参加や観光宣伝隊等による本市のPR活動、旅行雑誌等への掲載にかかる経費を計上している。そのほかに、山口県観光連盟などの各団体が実施する取組に対する負担金を計上している」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「令和5年度は錦帯橋創建350年という記念の年度であったが、今年度の観光施策の実施状況はどうか」との質疑があり、
当局から、「令和5年度は、錦帯橋まつり、錦川水の祭典、錦帯橋創建350年記念式典など、関連のイベント等においてPRを実施してきた。さらに、記念事業として森高千里さんのコンサートを3月23日に開催することとしている。チケットは販売日の翌日に1,126枚が全て完売しており、購入者のうち半数以上が市外の方と想定されるので、本市への誘客が図られたと考えている。また、話題性が高いことから、コンサート後もファンの方が本市を訪れることが期待できるなど、新年度における新たな誘客にもつながると考えている」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「本市の知名度を上げるため、この記念事業をきっかけとして、今後も継続してイベントの開催を計画し、全国から観光客を呼び込めるような取組を進めていただきたい」との意見がありました。

続いて、商工費の企業振興費の店舗魅力向上リニューアル事業に関し、
委員中から、令和5年度の実績について質疑があり、
当局から、「令和6年1月末現在で、12件の申請がある。内訳としては、岩国商工会議所管内が5件、岩国西商工会管内が5件、やましろ商工会管内が2件である」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「本事業は市街地の商店街を元気にするだけでなく、中山間地域における買物困難者対策にも有効であることから、新年度においても多角的なアプローチをもって、さらなる事業の周知をお願いしたい」との意見がありました。

本議案のうち、本委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。

以上で、経済常任委員会の審査報告を終わります。